

LiveServer LSボックス 標準クライアントソフト

6画面標準クライアントソフト (LSBOX-CW6)



30画面標準クライアントソフト：Client 3 (LSBOX-CWF)

標準クライアントソフトとは

ライブサーバー/LSボックスから伝送された映像・音声をクライアントPC上で再生、録画したりカメラ制御したりするアプリケーションソフトです。6画面標準ソフトと30画面ソフトがあります。

SDK（ソフトウェア開発キット）で、用途に応じたカスタムのクライアントソフトを開発することも可能です。

動作環境

CPU	Pentium III（1GHz 以上）を推奨
メモリ	512 MB 以上を推奨（最低256MB以上）
HDD	20 MB 以上の空き領域（録画を行うときは録画用として1 GB 以上が必要）
VGA	解像度 1024 x 768 Full color（24bit，32bit）以上
ネットワーク	TCP/IP プロトコル（100 BASE-Tx Full Duplex）以上
対応 OS	WindowsXP Professional（推奨），WindowsXP Home，Windows2000 Professional

■ 6画面標準クライアントソフトの主な機能

カメラ・プリセット

接 続

プリセット名

プリセット位置に移動

位置の登録
削除

カメラズーム

接続先

映像

音声

通話

静止画(JPEG)で記録

録画開始/停止

画像サイズ(L, M, S)

接続先情報
(インポーズ)

*クリックしたところが画面の中心となる

カメラPTZ制御

日付時刻
(インポーズ)

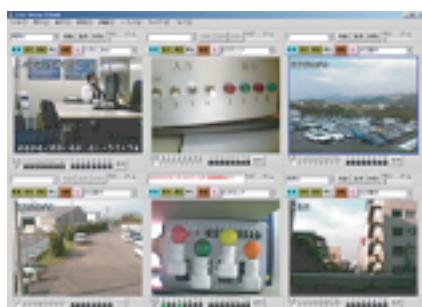
制御入力状態表示

出力設定表示

出力設定データをLSボックスへ送信

* このボタン/バーは、必要に応じて表示/非表示が選択できます。

■ 画面構成



6画面（デフォルト）



1画面



2画面



3画面



4画面

画面数は

1、2、3、4、5、6から選択が可能です。
周辺のツールバーやボタンを隠し
シンプルな画面でご覧いただけます。

■ その他の機能

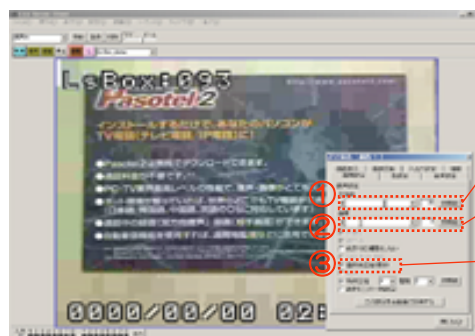
録画・再生

- ・手動録画開始/停止
- ・センサーと連動してイベント発生とともに録画開始
(イベント発生直前の録画も可能)
- ・録画ファイルの中から日付時刻、カメラ番号などで検索/再生

＊用途に応じて最適な圧縮率、画質に調整できます。



圧縮率・画質の調整



- ① 圧縮率の調整
- ② 画質の調整
- ③ 特殊圧縮の選択

制御入力・出力



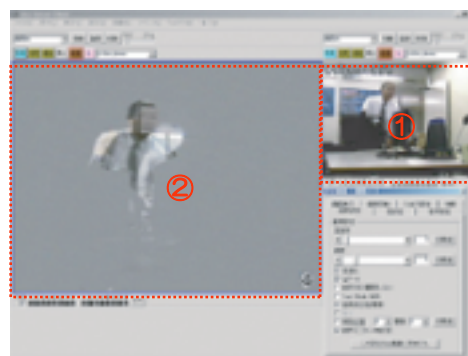
- ① 遠隔地の制御入力状態を表示

- ② 遠隔地のランプを点灯、消灯

動きセンサー

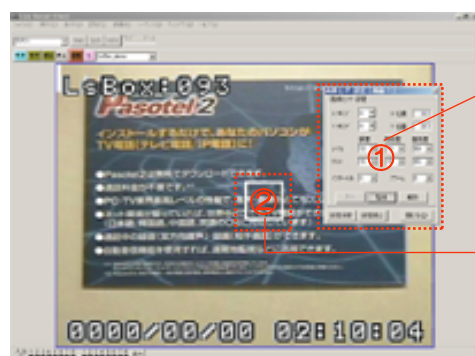
指定した領域の動きを検出

- ① 基準画面
- ② 差分画面



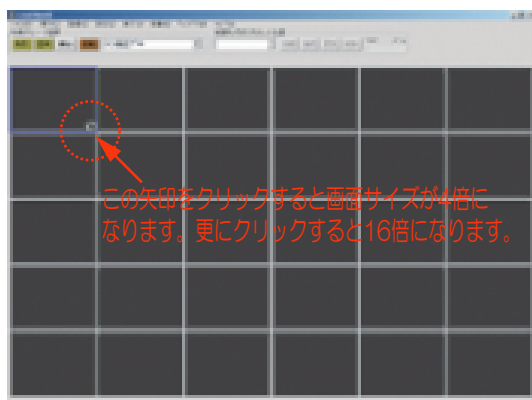
画像センサー

指定した領域の輝度、色などの変化を検出



- ① あらかじめ基準となる輝度、赤色差、青色差のレベルとリミットを設定。
- ② センサー領域を指定。大きさを8段階。

■ 30画面標準クライアントソフト：Client 3



この矢印をクリックすると画面サイズが4倍になります。更にクリックすると16倍になります。

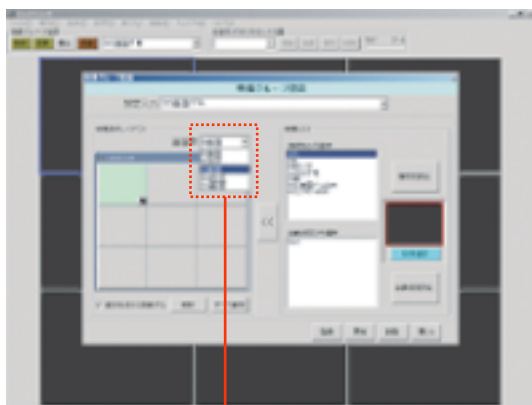
30画面（デフォルト）



実際の映像を確認

それぞれの画面の接続先を設定

画面数の選択



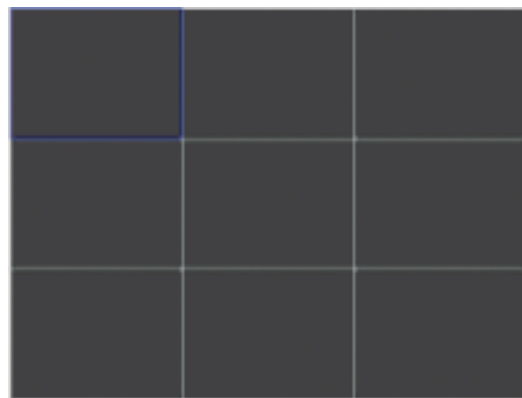
1、4、9、16、30から選択



12画面の例

6画面ソフトとの相違点

- ・状況に応じた複数の画面パターンを作成し保存することができます。
- ・作成したパターン毎の一括接続切替が可能です。また、パターンの切替は、自動的に巡回切替できます。
- ・画面パターンを起動時に接続自動化することにより、面倒な起動手順を省き、ユーザーの操作を簡素化することもできます。



9画面の全画面表示例

起動時に接続自動化を設定していると、瞬時にこの画面パターンが起動し、カメラ映像が表示されます。

[ご注意] この資料は暫定技術情報です。今後変更することもありますのでご了承ください。詳細については下記までお問い合わせください。



【販売元】 ケアンドエムエンタープライズ株式会社

〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木戸瀬3-2-14

TEL : 093-618-3411 FAX : 093-618-3613 URL : <http://www.kamjp.com/>